

しんじょう市議会だより

No.129

2015.7.27

一般会計は1億3,488万9千円を追加し、

総額

156億2,288万9千円に決定

本会議の審議から

5月臨時会、6月定例会に市長から出された案件は、

- ①新庄市市税条例の一部を改正する条例の専決処分承認について
- ②平成26年度新庄市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告等についての報告他6件
- ③新庄市固定資産評価員の選任について
- ④新庄市監査委員の選任について
- ⑤新庄市体育館耐震補強工事の内建設工事請負契約の締結についての議案他11件

加えて、議員より教職員定数改善と義務教育費国庫負担金制度2分の1復元に係る意見書の提出についての議案他1件が提出され合計で24件でした。慎重審議の結果、原案のとおり、5件承認、2件同意、3件了承、14件を可決しました。一般会計補正予算は、歳入、歳出それぞれに1億3,488万9千円を追加し、総額156億2,288万9千円となりました。

新議長・新副議長のあいさつ



議長 清水 清秋

議長に就任してから1ヶ月半経ちました。

ようやく、新しい構成での議会改革推進委員会が動き出したところです。

私は、常に議会は改革を模索しながら、市民にわかりやすくまた、見える・出来る議会を目指していきたいかなければならないと考えています。議論を活発化し、合意形成を



副議長 石川 正志

図っていく、そこに議会の理想の姿があるのではないかと思っています。

議会は、市民のため最良の意思決定を導き出す責務を負っています。様々な意見を踏まえ、合議制を下に、議会が一つになって執行部と議論できるよう、議長を補佐して参ります。

新しい
顔ぶれの市議会
で
どんな討議が
されるのか
注目しとるぞ



一般会計補正予算

本会議初日に歳入歳出それぞれ1億3488万9千円が追加計上されました。

補正内容の主なものは次のとおりです。

総務費

- ・地域づくり支援事業に係る費用

民生費

- ・生活保護運営対策事業に係る費用

農林水産業費

- ・森づくり推進事業に係る費用

商工費

- ・物産振興対策事業に係る費用

土木費

- ・道路長寿命化事業に係る費用
- ・公園管理事業に係る費用

教育費

- ・学校教育指導事業に係る費用

最終日に審査を行った結果、全員異議なく可決しました。

5月臨時会で審議された議案等

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
報告	第6号	新庄市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
	第7号	新庄市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
	第8号	新庄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
	第9号	平成26年度新庄市一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認について	承認
	第10号	平成26年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	承認
議案	第36号	新庄市固定資産評価員の選任について	同意

6月定例会で審議された議案等

種類	番号	件名	結果	
【市長提出】				
報告	第11号	一般財団法人新庄市体育協会の経営状態の報告について	了承	
	第12号	平成26年度新庄市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	了承	
	第13号	平成26年度新庄市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	了承	
議案	第37号	新庄市監査委員の選任について	同意	
	第38号	金山町との新庄最上定住自立圏形成協定の締結について	可決	
	第39号	最上町との新庄最上定住自立圏形成協定の締結について	可決	
	第40号	舟形町との新庄最上定住自立圏形成協定の締結について	可決	
	第41号	真室川町との新庄最上定住自立圏形成協定の締結について	可決	
	第42号	大蔵村との新庄最上定住自立圏形成協定の締結について	可決	
	第43号	鮭川村との新庄最上定住自立圏形成協定の締結について	可決	
	第44号	戸沢村との新庄最上定住自立圏形成協定の締結について	可決	
	第45号	新庄市体育館耐震補強工事の内建設工事請負契約の締結について	可決	
	第46号	字の区域及び名称の変更について	可決	
	第47号	平成27年度新庄市一般会計補正予算（第1号）	可決	
	第48号	新庄市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決	
	第49号	財産の処分について	可決	
	【議会提出】			
	議会案	第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	可決
		第4号	TPP交渉に関する意見書の提出について	可決

とぴつくす

○ 体育館耐震補強工事に審議集中

耐震強度不足により補強工事が行われることになった新庄市体育館ですが、昨年度提示された工事内容と今議会に示された内容が、大きく異なり変更されていることについて、①その理由、②議会に変更の報告・通知をなぜしなかったのか、③利便性を損ないはしないか等、議論が集中しました。結果的に賛成多数により可決されましたが、執行部には今後議会への説明をしっかりとすよう求めたところです。

○ 議長・副議長の所信表明会を実施

これまでは議長・副議長が決定するまでの経過が市民の皆様には不透明だったため、議会基本条例が目指す「市民に開かれた議会」の実現に向け、初めて実施したものです。

今回は議長候補者として3名、副議長候補者に1名の方の所信表明がありました。この所信表明会は、初めての取り組みでしたが、今後さらに、透明性が増すよう検討して行きたいと思えます。

○ 8市町村で新庄最上定住自立圏形成協定を締結

人口減少、少子高齢化が進行する中、住民の暮らしと定住促進を図るため、新庄市が中心市となり、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村の近隣各町村と1対1の関係で連携する取り組みの内容や役割を定めた定住自立圏の形成に関する協定を締結しました。

近隣町村と連携し、必要な都市機能、生活機能を確保することで、魅力ある地域の形成を目指し、共存共栄していくものです。

議案に対する議員の賛否

※以下の審議された議案は賛否が分かれたものです。

○ → 賛成 ● → 反対

議案等番号	会 派 名	起新の会		市明・公明クラブ				穆清会		絆の会			会派に属さない議員			採決結果					
		佐藤 義一	石川 正志	小嶋 富弥	小野 周一	山科 正仁	佐藤 卓也	高橋 富美子	下山 准一	小関 淳	遠藤 敏信	奥山 省三	森 儀一	今田 浩徳	清水 清秋		新田 道尋	佐藤 悦子	叶内 恵子	星川 豊	
議案第45号	新庄市体育館耐震補強工事の内建築工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
請願第3号	「平和安全法制」法案の徹底審議を求める意見書の請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
請願第4号	「平和安全法制」法案の廃案を求める意見書の請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
請願第6号	米価暴落対策の意見書を求める請願	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

※議長は採択に参加しません。

請願の審議結果

件 名	請 願 者	紹介議員	結 果
TPP交渉に関する請願	山形県新庄市大字昭和615 荒澤 裕子	星川 豊	採 択
「平和安全法制」法案の徹底審議を求める意見書の請願	山形県新庄市北町5-19 石田 千與三	佐藤 悦子	継続審査
「平和安全法制」法案の廃案を求める意見書の請願	山形県新庄市松本609番地の5 佐藤 忠志	佐藤 悦子	継続審査
「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請」について	山形県教職員組合最上地区支部 支部長 伊藤 充弘	遠藤 敏信	採 択
米価暴落対策の意見書を求める請願	山形県新庄市十日町764 松田 義美	小関 淳 星川 豊	不採択

受け手となれる担い手農家の育成と通学バスの運行を問う



佐藤 義一 議員

◎高齢化や後継者不在による耕作困難者の受け手となる担い手農家の育成の今後を問う。

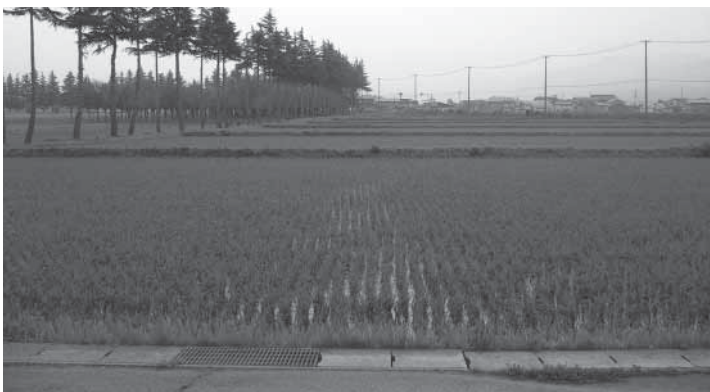
市長 認定農業者の要件が緩和されたことにより、市の認定農業者数は、4月末現在で653名となりました。しかし、すべての認定農業者が規模拡大の意

◎通学距離だけでなく、防犯上からも通学バスの運行が急務と、思うが今後の対応を問う。

教育長 第四次振興計画では、登下校における児童・生徒の安全安心の確保を重要な柱として

向があるわけではないため、出し手の希望に対応するために、集落での話し合いによる担い手の確保や集落営農等の組織化の支援を行っているところであり、また、担い手の安定的な農業経営のため、農業金融制度による利子助成や、国や県の支援制度を活用した農業用機械の導入助成を行っているところで

位置付けています。通学バスの件については、保護者、地域の方々と連携を図りながら検討を行っております。今年度は、萩野学園の開校にあわせてスクールバス運行を開始しており、小泉地区の小中学生についても今年度より冬期間の運行対象となつております。また、路線バスを利用している児童・生徒に対する冬期間のバス料金に対する補助制度の実施も予定しています。来年度以降も年次計画に基づいて範囲を拡大しながら、防犯対策も含めてスクールバスを活用し、児童・生徒の安全性を図つてまいります。



一般質問

一般質問は、6月5日と8日の2日間、8名の議員が行いました。質問の要旨は、質問者の原稿のとおり掲載しました。

6月定例会一般質問の質問者と質問事項

佐藤 義一

1. 農地集積の実情について
2. 農業委員会委員の選出方法について
3. 通学バスの運行について
4. 選挙の投票時間の短縮について

小関 淳

1. ごみステーション・ゴミ回収の充実・整備について
2. 総合計画にある「魅力的な市街地の形成」の今後の方向性について
3. 人事評価システムの今後の方向性について

山科 正仁

1. 少子高齢化の影響による雇用について
2. 市への視察と観光振興について
3. 農林業の将来について

小嶋 富弥

1. 政策提言について
2. 新庄まつりについて

奥山 省三

1. 奥羽金沢温泉の休業について
2. 地域おこし協力隊について
3. 市長3期目に向けての決意は

高橋 富美子

1. 生活困窮者対策について
2. 生活道路排雪事業費補助金について
3. 健康マイレージ制度の導入について

叶内 恵子

1. 空き店舗対策について
2. アーケード撤去後の中心商業地の整備について

佐藤 悦子

1. 平和都市宣言の平和憲法の精神に基づいた社会科教科書の採択について
2. 市独自の米価暴落対策について
3. 高齢者の生活を守るために

住む人がしあわせに暮らせる街づくりを



小 関 淳 議員

◎各町内の衛生組合の方々に
よってごみステーションは衛
生的に管理されている。しか
し、カラス被害により毎回ゴ
ミが散乱しているところもあ
る。市としても充分な対策が
必要ではないか。

市長 ごみステーションの管
理につきましては、現在、各
町内会で管理していただい
ています。ごみステーションの
ネットですが、黄色いカラス
除けネットの有効性が判明し
ましたので、今年度事業から
普及に取り組んでいます。た
だし、従来の青色ネットより
かなり高額となるため、今後
は、必要な町内への助成制度
で対応してまいりたいと考
えています。

◎「まちづくり総合計画」は
市政運営の方向性が示されて
いる。その中には、コンパク

トなまちづくり推進の文言がある
が、現状は拡大しているのでは。今
後の方針はどうか。

市長 コンパクトなまちづくりにつ
いては、これまで整備してきた道
路、水道などの都市機能を有効活用
させることを基本として、用途地域
やその周辺を市街地・居住ゾーンと
した展開を図りたいとの考え方であ
ります。現在も開発が行われている
地区がありますが、周辺の住宅地と
地続きであり、この開発により最上
圏域の町村からの集客も望め、また、
雇用の拡大も期待できるものであり、
定住促進につなげる方法の一つにも
なると考えています。市にとっても
人口減少への対応が一番の課題であ
り、定住対策を考えた場合、「魅力あ
る市街地の形成」は重要な施策の一
つとして、コンパクトなまちづくり
を推進していきたいと考えています。



子ども達の将来をサポート



山 科 正 仁 議員

◎学校教育と併行して子ども
達への早い時期からの新庄市
の将来像の周知を図り、子ど
もの将来の指標をサポートす
る事が必要と考えますがいか
がでしょうか。

教育長 子どもたちが自分の
将来を考える教育について
は、各学校で主に「キャリア
教育」の分野で発達段階に応
じて行っています。また、地
域の人や自然、文化、産業な
どを学習教材とした「ふるさ
と学習」を行っています。キ
ャリア教育やふるさと学習を
行う中で、子どもたちが地元
の産業について学んだり、将
来の職業の選択につながる情
報を得ることを通したりし
て、市の現状や可能性につい
て理解し、望ましい職業観の育
成や職業選択の幅を広げるこ
とができるよう努めています。

いと思います。また、関係各課と連
携を図り、市のまちづくりや産業、
文化などについて学ぶことを通して
市への理解が深められるよう各学校
に紹介してまいります。

◎新庄市への各視察を観光振興及び
経済効果に派生させていく重要性と
その為の戦略的な計画についてのお
考えをお聞かせください。

市長 本市に視察に訪れていただ
いた際は観光ガイドブック等をお配り
したり、また、時間のある方につい
ては歴史センターなどの文化施設を
ご案内したり、お土産については特
産品を扱っている店舗や物産館を紹
介するなど、観光と物産をPRし、
広くアピールしているところであり
ます。これらは、視察目的以外にも
本市にふれていただく貴重な機会
であり、その後の交流拡大への絶好の
チャンスと捉え、今後とも効果的な
PRに積極的に努めてまいります。



市民の思いを、声を問う



小嶋 富弥 議員

◎議会の総意として、3月4日に市長に、政策提言をいたしました。これらは、開かれた議会をめぐり、市民と共に歩む議会を目指し、市内5ヶ所で行った2回の議会報告会で、頂いた声を取り入れ、又議会でも議員間の論議を積み重ねて、三点に絞りたいと思いましたが、それらの実現、具現化に向けた市長の考えを、お伺いいたします。

市長 一点目の雪対策の充実についてですが、まず、関係各位が集う協議会の設置については、他市の状況を参考に実施案を策定し、今年度の除雪事業実施計画に反映させてまいります。次に窓口の一本化についてですが、市道に限らず国道、県道における除雪関連の問合せには、その都度連絡役として対応しております。今後におきましても国、県の関係機関と連携を密にし、

市民の利便にかなう体制を検討してまいります。流雪溝整備計画については、今年度から金沢地区・新松本地区へ流雪溝用水導入事業を開始しますが、今後とも国、県の河川管理者との協議を強化し、流雪溝用水の確保に努めてまいります。二点目の人口減少対策についてですが、すべての市民が輝きながら、いつまでも住み続けられるまちをつくるということが「暮らし・定住」に繋がると考えます。そのためには、まちづくり総合計画の着実な実施が人口減少対策であると考えており、特に「暮らし・定住」に向けた「雇用・交流の拡大」、「安全・安心の充実」、「子育て・人づくり」のプロジエクトを今後も効果的に推進してまいります。三点目の農業政策についてですが、担い手の確保に関する取組みとして、新規就農者に対する給付金などの支援策や、農業経営者の育成を目的としたセミナー等の実施による支援により担い手の育成・確保につなげようと考えています。また、新たな農業への取組みとして、6次産業に取組もうとする農業者への支援を充実するとともに、地域の特色を生かした新たな農産品・加工品を開発し、6次産業化による農業の活性化・所得の向上をめぐってまいります。道の駅の設置については、場所や運営主体等多くの課題が考えられることから、関係機関との協議の場を設け、課題の整理と検討を進めたいと考えております。

奥羽金沢温泉の休業について



奥山 省三 議員

◎市民の健康増進の場である奥羽金沢温泉が四月から休業しています。全国で唯一、35の全市町村で温泉施設があるのは山形県だけですが、休業しているのは当市だけです。一日も早い再稼働を市民は望んでいます。再開の目的は、どうですか。

市長 奥羽金沢温泉は、設備の故障により4月中旬から休業していますが、事業者において修繕を行い営業再開を検討されていると伺っています。市では、運営費の補助とすることで温泉事業の一部支援を行っておりますが、今後ともこれまで同様に市民の健康増進の一助となるような協議を継続してまいります。◎今年の九月に市長選がありますが山尾市長の決意をお伺いいたします。また選挙公約

はどうするのですか。

市長 人口減少、少子化問題がクローズアップされ、国は東京一極集中を是正し、地方創生に全力で取り組むとしており、今年度は、ふるさと創生元年と位置づけられています。地方の創意工夫と自立が求められる大切な年と認識しており、これまで以上に「元気なまち新庄」を、引き続き実現していく決意でございます。「人行きかづまち」、「人ふれあうまち」、「人学びあえるまち」を基本理念として今後も政治のかじ取りを行う覚悟であります。マニフェストについてであります。第四次振興計画が私の市政についての考え方、現在行っていることが反映されているものと考えています。このベースにあります。「元気なまちづくり」、「自信と誇りがもてるまち新庄」の実現に向けて全力投球してまいります。



生活困難者対策の取り組みを問う



高橋 富美子 議員

◎生活困難者自立支援制度において、自治体に義務付けられた制度と、新庄市が任意で実施する制度の取り組みについて、また支援対象者の把握をどのようになされているのかお伺いいたします。

市長 義務付けられた事業として、生活に困っている方が早い段階で自立した生活に戻れるように支援する自立相談支援事業と、離職等で住宅を失った又は失うおそれが高い方で、所得等が一定水準以下の方に対して期間を限って住居確保給付金を支給する事業があります。任意で実施する事業は生活困難者に対し、就労に必要な訓練を行う就労準備支援事業であります。生活自立支援センターもがみでは自立相談支援事業と就労準備支援事業の二つの事業を一体

的に実施しています。対象者の把握については、市報・チラシ等での周知、更に、訪問支援などにより支援対象者の把握に努めてまいります。

◎生活道路路排雪事業補助金の増額及び、雪捨て場の固定資産税の減免・軽減についてのお考えをお伺いいたします。

市長 雪捨て場の排雪にかかる補助金ですが、過去3年間で29団体より申請を受け総額81万6千円の補助金を交付しており、1戸あたり約1万6千円の負担と想定しています。今後、沿線戸数の減少や、降雪量の増大によりさらなる負担増となった場合は、制度の見直しを含め検討していきたいと考えています。また、固定資産税の減免・軽減につきましては、各町内の排雪場の現状把握と課題等の整理を行い、他市の状況も参考にして検討していきたいと考えております。



地域活性化の実現を目指して



叶内 恵子 議員

◎中心市街地の活性化施策として商業地域空き店舗等対策を行っていますが、出店支援事業補助金制度の利用実績はどのようになっているかお伺いいたします。

市長 この制度は平成20年度から実施しており、平成26年度まで計12件の実績となっております。今年度は、空き店舗等を活用した創業支援に関するやまがたチャレンジ創業応援事業助成金の募集情報を5月発行のお知らせ版に掲載するとともに、6月には「新庄市商業地域空き店舗等出店支援事業費補助金」の案内チラシも全戸配布する予定です。また、厚生労働省で採択された最上地域雇用創造推進事業に3年間取り組んでまいりますが、その中でも空き店舗等の活用についての情報を提供



してまいります。

◎現在南本町商店街のアーケード撤去工事を行っています。撤去後の整備計画及び無電柱化の実現化に向けての動向等についてお伺いいたします。

市長 アーケード撤去後の歩道は冬期間における歩行者の安全な通行を確保するため無散水歩道整備事業を実施し28年度からの工事を予定しています。整備内容として、両側の歩道に無散水消雪設備を設置し、車道中央部は新たに散水消雪施設を構築していきたいと考えています。無電柱化の動向としては、無電柱化推進検討会議において無電柱化の推進計画の策定が行われる予定になっております。それを受け東北地方整備局、市町村と随時計画策定がなされていくものと考えております。加えて、国が進める事業費軽減の取り組みを踏えて安全で快適な通行空間の確保を目指していきたいと考えています。

二度と悲惨な戦争をしないために



佐藤悦子 議員

◎平和都市宣言の立場から、平和憲法の精神に基づき、二度と悲惨な戦争をしないという決意を次世代に伝えることは大事なことでないか。

市長 昭和59年に新庄市平和都市宣言を行ってから、世界の恒久平和という人類共通の理念を広く次世代に訴えるため、新庄市平和都市宣言推進会議を組織しております。毎年8月15日の終戦記念日に実施している新庄市平和都市宣言旗掲揚式では、小中高生の参加を要請するなど子どもたちに対する啓蒙も強化しています。今後も、子ども達を含め、広く市民に平和の尊さを訴えるとともに核兵器の廃絶と戦争の愚かさを訴えていきます。

◎中学校教科書の採択にあたって、平和都市宣言と平和憲

法の立場から二度と戦争をしないという確かな歴史認識が育まれる教科書が採択されることをのぞむ。

教育長 教科書の採択にあたっては、平成26年4月に出された文科省からの通知に基づき最上地区採択協議会で採択された教科書を使用することになります。採択方法については、幅広い視野から意見を反映させることや、児童生徒にとつて読みやすいものになるように教科書のユニバーサルデザイン化という視点から検討することが望ましいなどがあげられています。最上地区でも、市町村ごとに教科書展示会を開催し、教職員はもとより、保護者や地域の方にもご意見を頂戴してよりよい教科書採択に反映させていきますし、これまでも最上の地域性や子どもたちの実態に応じた教科書を採択しています。



新庄まつり 幻想と興奮、現代に魅せる歴史絵巻



今年で260年を迎える、新庄まつり。平成21年3月に国重要無形民俗文化財に指定され、現在は「山・鉦・屋台行事」全国33団体の一員としてユネスコ無形文化遺産の候補となっています。今年には新庄まつり260年記念として、8月25日に山車の夜間運行「新庄まつり260年記念山車行列」が行われます。市民総参加で、新庄まつりを大いに盛り上げていきましょう。

8月24・25日
宵まつりが2晩
続く、にぎやかに
なるのう。



議会改革推進委員会を設置

7月3日に第1回委員会を開催し、より一層開かれた議会を目指し、検討を加えていくことを確認しました。構成メンバーは次のとおりです。

- ◎遠藤敏信
- 山科正仁
- 佐藤悦子
- 佐藤卓也
- 今田浩徳
- 新田道尋
- 石川正志

※◎は委員長、○は副委員長

会派紹介「起新の会」

代表：佐藤 義一
石川 正志 小嶋 富弥

改選された市議会において、想いを新たにして政策提言の出来る政策集団を目指し三人で目的意識を共有し会派結成を行いました。

今、そして将来のために、次世代のために何が必要とされるのかを協議、学習、論議いたしてまいります。

会派紹介「市民・公明クラブ」

代表：小野 周一
山科 正仁 佐藤 卓也 高橋 富美子 下山 准一

市民・公明クラブは、保守系議員・公明党議員5名で活動する政策集団であります。

会派として、各定例会前に議案等の検討会を開催し、議員間の情報の共有化を図り、議会においては是々非々の態度で臨みます。また、更なる市民の福祉向上につなげる為、定期的に市政の課題等に対し研修会を開催し、議員としての資質の向上にも努め、政治の原点である弱い立場にある市民の小さな声を市政に反映させるべき政策を積極的に提言・提案をして参ります。

会派紹介「^{ぼく} ^{せい} ^{かい} 穆清会」

代表：小関 淳
遠藤 敏信 奥山 省三

穆清会という会派名は、「穆として清風の如し」という一句から命名したものです。市民の暮らし向上のために、議会の一員として市政に関わり役立っていききたい。そしてそうなったとしても、それを自分の功とすることなく、市民の皆様へ感謝の思いを抱きながら、穏やかに清々しく議員としての職責を全うしていきたい、という思いを表現しました。これからもわが会派は日々研鑽を重ね、いいものはいい、ダメなものはダメ、という「是々非々」のスタンスを堅持していきます。よろしくお願ひします。

会派紹介「絆の会」

代表：森 儀一
今田 浩徳 清水 清秋 新田 道尋

ベテラン議員の知恵と実績に、フレッシュ議員の行動力を加え、新庄市活性化のため地域を結ぶ提案を市民の皆様と共に参ります。

より広く声を聞き、語らい、信頼される会派として施策実現のため汗をかいていきます。

会派に属していない議員

佐藤 悦子 星川 豊 叶内 恵子

本会議の様様をインターネットで中継しております。

新庄市議会では、「市民に開かれた議会」をめざし、本会議の様様をインターネットにより中継しています。

議会へ傍聴にお越しになれない市民の皆さんのため、自宅等にしながら議会の生中継及び録画中継をご覧になることができるようになりました。

録画中継についてはいつでも見ることができるので、市ホームページの議会のサイトにアクセスしてください。



議事を傍聴しませんか

—市民の皆さんの意見が反映されていますか—

どなたでも議事を傍聴することができます。当日直接議会事務局にお越しください。受付簿に住所・氏名を記入していただく他は、面倒な手続きはありません。
(傍聴席に限りがありますので、団体の場合は事前に議会事務局までご連絡ください。)

表紙写真を募集します

1. 募集内容

新庄市の行事や風景等で、必ず人物が写っている写真作品。

2. 応募規定

写真は次の①～⑤全てに該当するもので、各時期の議会だよりにつき1人2点まで応募できるものとします。

- ①応募者本人が新庄市内において撮影したもの。
- ②他の媒体などに応募していないもの(未発表のもの)。
- ③メールやUSB等のデータ(JPEG形式)で提供できるもの。
- ④写真に写っている人物の許可を得ているもの。
- ⑤A4縦の表紙にサイズがあうもの。

※詳しくは、HPをご覧ください。

9月定例会の予定

9月30日(水)	開会
10月1日(木)	一般質問
2日(金)	一般質問
5日(月)	常任委員会
6日(火)	常任委員会
7日(水)	決算特別委員会
8日(木)	決算特別委員会
14日(水)	最終日

※一般質問者数により若干日程が変わります。

請願締切は9月16日(水)までとなっております。

あとかぎ



今年春以来、いつになく気温の高い日が多く、夏を思わせるような天気が続きました。“梅雨入り”と報じられた雨は待望久しい恵みの潤いとなったようです。

さて、新しい議会構成となり早2か月余、各種委員会の役割分担も整いつつあります。18名の議員それぞれが、市民の皆様方から託された思い・願いを背負い、市民福祉の向上と日々のくらしの充足・改善等に向け、取り組みの意を新たにしているところです。

新庄市の議会だよりは、限られた紙面の中にいかに数多くの議会情報をお知らせできるか、委員一同絶えず意識して編集に臨んでいます。わかりやすい言葉での表現、見やすい紙面づくりにいっそう努めたいと思います。

皆様のご意見をお寄せください。お待ちしております。

議会報編集委員会委員長

遠藤 敏信

総務文教常任委員会



上段左から
小 関 淳
新 田 道 尋
山 下 科 正 仁
下段左から
小 嶋 富 弥
高 橋 富 美 子
◎ 星 川 恵 子
○ 叶 内 子
※ ◎は委員長、
○は副委員長

議会運営委員会



上段左から
佐 藤 義 一
佐 藤 卓 也
小 野 周 一
下段左から
高 橋 富 美 子
◎ 森 儀 一
○ 小 関 淳
※ ◎は委員長、
○は副委員長

【新庄市監査委員（議会推薦）】

新 田 道 尋

【最上広域市町村圏事務組合議会議員】

議長 清 水 清 秋 星 川 豊
小 関 淳 佐 藤 卓 也

産業厚生常任委員会



上段左から
今 田 浩 徳
奥 山 省 三
森 川 正 志
石 川 正 志
下段左から
小 野 周 一
佐 藤 悦 子
◎ 佐 藤 義 一
○ 佐 藤 卓 也
遠 藤 敏 信
※ ◎は委員長、
○は副委員長

議会報編集委員会



上段左から
佐 藤 義 一
佐 藤 卓 也
山 科 正 仁
下段左から
◎ 今 田 浩 徳
◎ 遠 藤 敏 信
○ 叶 内 恵 子
※ ◎は委員長、
○は副委員長